

アーティセンの新 **500W 1/4 ブリック DC-DC** コンバータは、デジタルインターフェース、高効率、そして通信、コンピューティング及びサーバー機器に必要な熱特性を提供

東京, 日本 [2015 年 11 月 11 日] — アーティセン・エンベデッドテクノロジーズは本日、通信ネットワーク及びデータセンター機器に必要な高効率と熱特性を備えた新 **500 W 1/4 ブリック絶縁型 DC-DC** コンバータ、[ADQ500 シリーズ](#)を発売しました。



ADQ500 シリーズ・コンバータには、アーティセンとして初めてデジタルインターフェースとアナログインターフェースの両バージョンがあり、共に業界標準の **DOSA** フットプリントに対応しています。デジタルインターフェース・バージョンは、**PMBus** コマンドプロトコルを介したコンバータへの通信ができ、電圧、電流、温度設定の制御及び監視機能、及び障害状態のレポートが可能です。標準のアナログ制御機能には、出力電圧トリム、出力電圧センス補正及びリモートイネーブル機能が含まれています。

ADQ500 シリーズの入力電圧範囲は **36 ~ 75 V** で、主としてコンピューティング 及びサーバーアプリケーションの **48 V** 安定化 電源、また通信機器における **48 V** 標準電源としての使用を対象に設計されました。フルレギュレーション **12 V** 単出力から最大 **50 A** の出力電流を供給可能なこのコンバータは、最小負荷要件もなしです。

また全負荷時で標準 **95.5 %**という超高効率と、周囲温度範囲- **40 ~ + 85°C**で動作可能なため、非絶縁型コンバータに電源供給する分散型電源アーキテクチャの絶縁型コンバータとして最適な選択肢です。さらに強制空冷または伝導冷却に最適化されたオープンフレーム設計で、熱特性をさらに向上させるアルミニウム製ベースプレートのオプションもあります。変換技術には **175 kHz** 固定周波数スイッチングを採用し、外部 **EMI** フィルタを最小化するのに役立っています。

このコンバータは、出力過電圧、出力過電流、加熱条件に対して包括的に保護されています。

ADQ500 シリーズはプリバイアス起動能力が強化され、また高電流アプリケーションでは自動的にドループ電流共有となり、2 基のコンバータの並行接続が可能です。

アーティセン ADQ500 シリーズ・コンバータは低背型ユニットで、基板間隔に厳格な要件のあるシステムに最適; オープンフレームモデルの実装高さは 0.43 インチ (11 mm)、ベースプレートバージョンでは 0.52 インチ (13.3 mm) です。

アーティセン・エンベデッドテクノロジーズについて

アーティセン・エンベデッドテクノロジーズは、通信、コンピューティング、医療、航空宇宙、工業などの各種業界向け高信頼性電源と組込みコンピューティングソリューションの設計と製造で世界をリードしている企業です。40年以上にわたってアーティセンは、コスト効果の高い先進ネットワークコンピューティングおよび電力変換ソリューションにより、お客様の開発期間短縮やリスク軽減を支援し、信頼され続けてきました。アーティセンの本社は米国・アリゾナ州テンピにあり、9か所のCOE（中核研究拠点）、4か所のワールドクラスの製造工場、世界各国でのグローバルなセールス&サポート拠点などを有し、世界各国で20,000人以上の従業員が働いています。

アーティセン・エンベデッドテクノロジーズ、アーティセンおよびアーティセン・エンベデッドテクノロジーズのロゴはアーティセン・エンベデッドテクノロジーズの商標とサービスマークです。他のすべての製品名およびサービス名は、それぞれの所有者の資産です。

© 2014 アーティセン・エンベデッドテクノロジーズ。

メディアお問い合わせ先:

Alice Hui

+852 2176 3548

Alice.Hui@artesy.com